

凡例

・「必須」、「準必須」、「アクセスポイント」「繰り返し」について

必須項目＝○: 入力が必要となる項目

準必須項目＝○: 書誌同定処理(※)を行う際に使用され、必須となる項目

準必須項目＝●: タイトル、出版者、出版年は併せて一つとして書誌同定処理に使用される

アクセスポイント＝○: 当該書誌が基本書誌(※)となった場合に、検索に使用される項目

繰り返し＝R: 繰り返しが可能な項目、NR: 繰り返しが不可能な項目

書誌情報(本表項番2-1～2-121)の第4、5階層のプロパティの値は、上位の第3階層が出現した場合の値とする。

例) "タイトル(dc:title)"の場合

上位階層 → dc:title(第3階層)は「R(繰り返し可)」

下位階層 → rdf:value(第5階層)は「NR(繰り返し不可)」

「rdf:value」は下位階層のため、上位階層「dc:title」の記載が必要となる。

※書誌同定処理とは、複数の機関で所蔵している同一の資料をまとめて表示するNDLサーチの機能のこと。

以下に示す7項目に対して、順に抽出・集約を行い書誌を同定する。

① 国立国会図書館書誌ID

② Newspaper_id

③ 全国書誌番号

④ TRCMARC番号

⑤ NS-MARC番号

⑥ ISBN+出版年+タイトルの1文字目

⑦ タイトル+出版者+出版年

①の出力結果を②の入力とし、②の出力結果を③の入力とする、というように段階的に処理を行う。

※基本書誌とは、書誌同定処理において他の書誌が集約される同定先の書誌のこと。

書誌同定処理対象書誌にNDL-OPACの書誌が含まれる場合、NDL-OPACの書誌が基本書誌となる。

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)											
	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					属性	内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			
1-1	-	-	-	-	○			NR	xml							XML文書であることを宣言 <?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
1-2	-	-	-	-	○			NR	rdf:RDF							文書のルート要素 <rdf:RDF xmlns:rdf="http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns#" xmlns:rdfs="http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#" xmlns:dc="http://purl.org/dc/elements/1.1/" xmlns:dcterms="http://purl.org/dc/terms/" xmlns:dcndl="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/" xmlns:foaf="http://xmlns.com/foaf/0.1/" xmlns:owl="http://www.w3.org/2002/07/owl#">
1-3	-	-	-	-	○			NR	dcndl:BibAdminResource					rdf:about	管理データの主題 <dcndl:BibAdminResource rdf:about="●●●"> ●●●の部分は、以下のように取ります。 ・書誌レコード単位で一意(ユニーク)となる書誌詳細画面URLがある場合 → 書誌詳細画面URL ・書誌レコード単位で一意(ユニーク)となる書誌詳細画面URLがない場合 例) 正本と複製が同じ書誌詳細画面URLを持つ場合 など → 書誌詳細画面URL+提供元機関で複製を一意に特定するための識別子 ●●●の部分はNDLサーチに格納される際に、http://iss.ndl.go.jp/books/情報探索IDという形に変換され、NDLサーチ書誌詳細画面のURLとなります。 ゆにかねつとデータ提供館の場合、情報探索IDの形式は「R10000001-1+数字可変長-00」となります。 ※R10000001はゆにかねつとデータ提供館共通のリポジットリポジット番号です。	
1-4	-	-	-	-	○			NR	dcndl:bibRecordCategory							書誌レコードのカテゴリー 「R10000001」(ゆにかねつとデータ提供館共通のリポジット番号)を取ります。 <dcndl:bibRecordCategory>R10000001</dcndl:bibRecordCategory> ※リポジット番号は、NDLサーチの連携先ごとに付与された一意の番号です。「総合目録データベース(ゆにかねつと)」として、まとめて1つのリポジット番号を付与しています(参加館個々には付与していません)。あらかじめリポジット番号を取ってデータを送っていただくことにより、NDLサーチでデータを受け取った際のデータ提供元の特定が容易になります。
1-5	-	-	-	-	○			NR	dcndl:record					rdf:resource	管理データから書誌データへのリンク <dcndl:BibResource rdf:about="●●●#material"> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#materialを付して取ります。	
2-1	-	-	-	-	○			NR	dcndl:BibResource					rdf:about	書誌データの主題 <dcndl:BibResource rdf:about="●●●#material"> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#materialを付して取ります。	
2-2	020_090	全国書誌番号	020B_090A_090B_	全国書誌番号		○	○	R	rdfs:seeAlso					rdf:resource	レコード番号(URI):JP番号 020Bの値(または、090Aの値が「JP」の場合は090Bの値)をURIに変換して取ります。 【例】090A_JP, 090B_91021340 →【DC-NDL入力例】 <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/jpno/91021340"/> ※※「URI形式」と「リテラル形式」の記録について ①※※ JP番号等の書誌データを一意に特定できる識別子は、「リテラル形式(=文字列による記載)」だけでなく、「URI形式」でも記述しています。これは、JP番号等の主要な識別子を、ウェブ上の情報を一意に表すための識別子であるURIにより定義することで、ウェブ上の検索(データの特定)や、異なるデータとの統合(リンク)などを容易にすることを目的としています。 DC-NDLにおいては、「JP番号」、「ISBN」、「ISSN」をこのように両方の形式で記述しています。 →分類記号の記録については項番2-95をご参照ください。	
2-3	020_090	全国書誌番号	020B_090A_090B_	全国書誌番号		○	○	R	dcterms:identifier					rdf:data type	レコード番号(リテラル):JP番号 020Bの値(または、090Aの値が「JP」の場合は090Bの値)を、データ型「dcndl:JPNO」を指定して取ります。 【例】090A_JP, 090B_91021340 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/JPNO">91021340</dcterms:identifier>	
2-4	090	マーク番号等	090A_090B_	マーク等種別マーク番号等		○		R	dcterms:identifier					rdf:data type	レコード番号(リテラル):TRCMARC番号 090Aの値が「JLA」の場合、データ型「dcndl:TRCMARCNO」を指定して、090Bの値を取ります。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/TRCMARCNO">TRCMARCNOの値</dcterms:identifier>	
2-5	090	マーク番号等	090A_090B_	マーク等種別マーク番号等		○		R	dcterms:identifier					rdf:data type	レコード番号(リテラル):NS-MARC番号 090Aの値が「NSMARCNO」の場合、データ型「dcndl:NSMARCNO」を指定して、090Bの値を取ります。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NSMARCNO">NSMARCNOの値</dcterms:identifier>	
2-6	090	マーク番号等	090A_090B_	マーク等種別マーク番号等				R	dcterms:identifier					rdf:data type	レコード番号(リテラル):OPL-MARC番号 090Aの値が「OPLMARCNO(大阪屋マーク)」の場合、データ型「dcndl:OPLMARCNO」を指定して、090Bの値を取ります。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/OPLMARCNO">OPLMARCNOの値</dcterms:identifier>	
2-7	090	マーク番号等	090A_090B_	マーク等種別マーク番号等				R	dcterms:identifier					rdf:data type	レコード番号(リテラル):紀伊国屋MARC番号 090Aの値が「KNMARCNO」の場合、データ型「dcndl:KNMARCNO」を指定して、090Bの値を取ります。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/KNMARCNO">KNMARCNOの値</dcterms:identifier>	
2-8	090	マーク番号等	090A_090B_	マーク等種別マーク番号等				R	dcterms:identifier					rdf:data type	レコード番号(リテラル):NACSIS-CATレコードID 090Aの値が「NII」の場合、データ型「dcndl:NIIbibID」を指定して090Bの値を取ります。 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NIIbibID">NIIbibIDの値</dcterms:identifier>	
2-9-1	010	国際標準図書番号	010A_	ISBN		○	○	R	rdfs:seeAlso					rdf:resource	標準番号(URI):ISBN 010Aの値をURIに変換して取ります。値中に出現する「-」(ハイフン)は削除します。 【例】010A_978-4-88621-559-8 →【DC-NDL入力例】 <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/isbn/9784886215598"/>	
2-9-2	-	-	-	-				R	rdfs:seeAlso					rdf:resource	標準番号(URI):ISBN(セットコード) ISBN末尾に「(set)」の文字列がある場合URIに変換して取ります。値中に出現する「-」(ハイフン)は削除します。 【例】4-87742-783-X(set) →【DC-NDL入力例】 <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/setisbn/487742783X"/>	
2-10	011	国際標準逐次刊行物番号	011A_	ISSN				R	rdfs:seeAlso					rdf:resource	標準番号(URI):ISSN 011Aの値をURIに変換して取ります。値中に出現する「-」(ハイフン)は削除します。 【例】011A_1001-2401 →【DC-NDL入力例】 <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/issn/10012401"/>	
2-11	28n(n=1~3)	シリーズに関する事項	28nX_	シリーズのISSN				R	rdfs:seeAlso					rdf:resource	標準番号(URI):シリーズのISSN 28nXの値をURIに変換して取ります。値中に出現する「-」(ハイフン)は削除します。 【例】281X_1001-1024 →【DC-NDL入力例】 <rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/issn/10011024"/>	
2-12-1	010	国際標準図書番号	010A_	ISBN		○	○	R	dcterms:identifier					rdf:data type	標準番号(リテラル):ISBN データ型「dcndl:ISBN」を指定して、010Aの値をそのまま取ります。 【例】010A_978-4-88621-559-8 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/ISBN">978-4-88621-559-8</dcterms:identifier>	
2-12-2	-	-	-	-				R	dcterms:identifier					rdf:data type	標準番号(リテラル):ISBN(セットコード) ISBN末尾に「(set)」の文字列がある場合、データ型「dcndl:SetISBN」を指定して、値をそのまま取ります。 【例】4-87742-783-X(set) →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/SetISBN">4-87742-783-X</dcterms:identifier>	
2-13	010	国際標準図書番号	010Z_	ISBN(誤)				R	dcterms:identifier					rdf:data type	標準番号(リテラル):ISBN(エラーコード) データ型「dcndl:ErrorISBN」を指定して、010Zの値をそのまま取ります。 【例】010Z_4-9902917-1-9 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/ErrorISBN">4-9902917-1-9</dcterms:identifier>	
2-14	011	国際標準逐次刊行物番号	011A_	ISSN				R	dcterms:identifier					rdf:data type	標準番号(リテラル):ISSN データ型「dcndl:ISSN」を指定して、011Aの値をそのまま取ります。 【例】011A_1001-2401 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/ISSN">1001-2401</dcterms:identifier>	
2-15	28n(n=1~3)	シリーズに関する事項	28nX_	シリーズのISSN				R	dcterms:identifier					rdf:data type	標準番号(リテラル):シリーズのISSN データ型「dcndl:ISSN」を指定して、28nXの値をそのまま取ります。 【例】281X_1001-1024 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/ISSN">1001-1024</dcterms:identifier>	

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)										
	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層		
2-16	071	発売番号(音楽録音・映像資料)	071A_	発売番号			○	R				dc:terms:identifier	rdf:data type	発売番号(録音・映像資料)	データ型 "dcndl:RIS502" を指定して、071A の値をそのまま取ります。 【例】071A.NSDS-9891 →【DC-NDL入力例】 <dc:terms:identifier rdf:data type="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/RIS502">NSDS-9891</dc:terms:identifier>
2-17	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nA_25nB_	本タイトルタイトル関連情報	○							dc:terms:title		タイトル	項番2-20で入力した値を取ります。 <dc:title>が複数ある場合は、".△"(ピリオド+スペース)の記号で連結して取ります。 【DC-NDL入力例】 <dc:terms:title>一つ目の値.△二つ目の値</dc:terms:title> ※※「dc:title」と「dc:terms:title」の記録について※※ タイトルに関する情報は「dc:title」と「dc:terms:title」の2箇所に重複して記述しています。 「dc:title」と「dc:terms:title」は以下のように使い分けています。 ・dc:title: タイトルと読みをセットで記述する(構造化する場合)に使用 ・dc:terms:title: タイトルのみを文字列で記述する場合に使用 「dc:terms:title」は、値の範囲をリテラル(文字列)に制約されており、読みとセットでの記述ができないため、上記のような使い分けをしています。また、タイトルが複数ある場合は連結して1つのタグに収めることで、データの利用が容易になるという利点も考えられることから、タイトルに関する情報を用途によって使い分けいただけるよう、2種類の形式でデータを取っています。
2-18					○	●		R				dc:title			
2-19						●		NR				rdf:Description	rdf:value	タイトル	
2-20	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nA_25nB_	本タイトルタイトル関連情報		●	○	NR						タイトル	【例】251A.灯火の歴史 251B.机の上の太陽 →【DC-NDL入力例】 <dc:title> <rdf:Description> <rdf:value>灯火の歴史:机の上の太陽</rdf:value> </rdf:Description> </dc:title> ①25nAと25nBを".△:"で連結して取ります。 <rdf:value>25nAの値.△25nBの値</rdf:value> ②25nBが複数ある場合は、25nBを".△:"で繰り返して取ります。 <rdf:value>25nAの値.△25nBの値.△25nBの値</rdf:value>
2-21	55n (n=1~9)	タイトル標目(タイトル関連情報の読み等を含む)	55nA_	カタカナ形(正規化)			○	NR				dcndl:transcription		タイトルよみ	【例】55nA.トウカノレキシ:ツクエノウエノタイヨウ →【DC-NDL入力例】 <dc:title> <rdf:Description> <rdf:value>灯火の歴史.△机の上の太陽</rdf:value> <dcndl:transcription>トウカノレキシ:ツクエノウエノタイヨウ</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dc:title> ※読みが2つ以上ある場合、1つ目の読みのみをDC-NDL項目に収めます。2つ目以降の読みは収めません。
2-22								R				dcndl:volume			
2-23								NR				rdf:Description			
2-24	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nD_	巻次、回数、年次等			○	NR					rdf:value	巻次・部番号	【例】25nD.第4巻 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:volume> <rdf:Description> <rdf:value>第4巻</rdf:value> </rdf:Description> </dcndl:volume> ※本タイトルが複数ある場合、25nDはdc:titleに".△"(ピリオド+スペース)の記号で連結して取ります。 <rdf:value>25nAの値.△25nBの値.△25nDの値</rdf:value>
2-25	55n (n=1~9)	タイトル標目(タイトル関連情報の読み等を含む)	55nD_	巻次等のよみ(正規化)			○	NR				dcndl:transcription		巻次・部番号よみ	【例】55nD.ダイ4カン →【DC-NDL入力例】 <dcndl:volume> <rdf:Description> <rdf:value>第4巻</rdf:value> <dcndl:transcription>ダイ4カン</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:volume> ※本タイトルが複数ある場合、55nDは本タイトルよみに連結して取ります。 本タイトルが複数あり、かつ55nDが2つ以上ある場合は、1つ目の読みのみをDC-NDL項目に収めます。2つ目以降の読みは収めません。
2-26								R				dcndl:alternative			
2-27								NR				rdf:Description			
2-28	261	並列タイトルに関する事項	261A_	並列タイトル			○	NR					rdf:value	別タイトル	値をそのまま取ります。 【例】261A.Origin hand book →【DC-NDL入力例】 <dcndl:alternative> <rdf:Description> <rdf:value>Origin hand book</rdf:value> </rdf:Description> </dcndl:alternative>
2-29								R				dcndl:alternative			
2-30								NR				rdf:Description			
2-31	354	原タイトル注記	354A_	翻訳資料の原タイトル			○	NR					rdf:value	別タイトル	値をそのまま取ります。 【例】354A.Nostalgia of hope and sentiment →【DC-NDL入力例】 <dcndl:alternative> <rdf:Description> <rdf:value>Nostalgia of hope and sentiment</rdf:value> </rdf:Description> </dcndl:alternative>
2-32								R				dcndl:alternative			
2-33								NR				rdf:Description			
2-34	590	その他のタイトル標目	590B_	漢字形(正規化)			○	NR					rdf:value	別タイトル	値をそのまま取ります。 【例】590B.Братья Карамазовы →【DC-NDL入力例】 <dcndl:alternative> <rdf:Description> <rdf:value>Братья Карамазовы</rdf:value> </rdf:Description> </dcndl:alternative>
2-35								R				dcndl:seriesTitle			
2-36								NR				rdf:Description			
2-37	2版:280 3版:28n (n=1~3)	シリーズに関する事項	2版:280A_280B_ 3版:28nA_28nB_28nD_	本シリーズ名シリーズ名関連情報シリーズ番号			○	NR					rdf:value	本シリーズ名シリーズ名関連情報シリーズ番号	28nA、28nB ".△:"で、28nDを".△:"で連結して取ります。 【例】281A.日本歴史叢書 281B.新装版 281D.第1巻 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>日本歴史叢書:新装版:第1巻</rdf:value> </dcndl:seriesTitle>

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)											
	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。	
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			属性
2-38	2版: 580 3版: 58n (n=1~3)	シリーズのタイトル標目(下位シリーズ及びタイトル関連情報の読み等を含む)	2版: 580A_580D_ 3版: 58nA_58nD_	カタカナ形(正規化)巻次等のよみ(正規化)			○	NR					dcndl:transcription		シリーズタイトルよみ シリーズ番号よみ	58nA、58nDを“△”“△”で連結して取めます。 【例】581A_ニホンレキシソウシヨ シンソウバン 581D_ダイ1カン →【DC-NDL入力例】 <dcndl:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>日本歴史叢書:新装版;第1巻</rdf:value> <dcndl:transcription>ニホンレキシソウシヨ シンソウバン;ダイ1カン</dcndl:transcription> </dcndl:seriesTitle> ※タイトルとよみは、nの値でセットにして取めます(281と581、282、582以降も同様)。 ※よみが複数ある場合は、1つ目の読みのみを281A_1に対応させて取めます。2つ目以降の読みは取れません。
2-39													dcndl:seriesTitle			
2-40													rdf:Description			
2-41	2版: 280 3版: 28n (n=1~3)	シリーズに関する事項(下位シリーズ及びタイトル関連情報の読み等を含む)	2版: 280D_280F_ 3版: 28nS_28nT_	下位シリーズ名 下位シリーズ番号			○	NR					dcndl:transcription	rdf:value	下位シリーズ名 下位シリーズ番号	28nS、28nTを“△”“△”で連結して取めます。 【例】28nS_ペイカー少年探偵団 28nT_3 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>ペイカー少年探偵団.3</rdf:value> </rdf:Description> </dcndl:seriesTitle>
2-42	2版: 580 3版: 58n (n=1~3)	シリーズのタイトル標目(下位シリーズ及びタイトル関連情報の読み等を含む)	2版: 580A_580D_ 3版: 58nA_58nD_	カタカナ形(正規化)巻次等のよみ(正規化)			○	NR					dcndl:transcription		下位シリーズ名 下位シリーズ番号よみ	58nA、58nDを“△”“△”で連結して取めます。 【例】581A_ペイカー ショウネン タンテイダン 580D_3 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>ペイカー少年探偵団.3</rdf:value> <dcndl:transcription>ペイカー ショウネン タンテイダン.3</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:seriesTitle> ※ただし、現在は、本シリーズ名の読みと下位シリーズ名の読みの区別がつかないため、下位シリーズの読みは取められていません。
2-43													dcndl:partInformation			
2-44													rdf:Description			
2-45	377	内容に関する注記	377A_	内容に関する注記			○	NR					dcterms:title		内容に関する注記	「内容:」という文字列を削除し、“/”(スラッシュ)の前までの値を取めます。 【例】377A_内容:西鶴織留/井原西鶴//著;北条回水//編 377A_西鶴文反古/井原西鶴//著;北条回水//編 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>西鶴織留</dcterms:title> </rdf:Description> </dcndl:partInformation> <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>西鶴文反古</dcterms:title> </rdf:Description> </dcndl:partInformation> ※原則として、577「内容細目」があるときは、377AはDC-NDL項目に取れません。
2-46													dcndl:partInformation			
2-47													rdf:Description			
2-48	577	内容細目(タイトル)	577B_	漢字形(正規化)			○	NR					dcterms:title		内容細目	577A、577Bの値をそれぞれ取めます。 【例】577A_ポッチャン 577B_坊ちゃん 577A_オオゾゴモリ 577B_大つごもり →【DC-NDL入力例】 <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>坊ちゃん</dcterms:title> <dcndl:transcription>ポッチャン</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:partInformation> <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>大つごもり</dcterms:title> <dcndl:transcription>オオゾゴモリ</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:partInformation> ※内容細目の著者については項番2-52を参照ください。
2-49	577	内容細目(タイトル)	577A_	カタカナ形(正規化)			○	NR					dcndl:transcription		内容細目よみ	<dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>大つごもり</dcterms:title> <dcndl:transcription>オオゾゴモリ</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:partInformation> ※内容細目の著者については項番2-52を参照ください。
2-50													dcndl:partInformation			
2-51													rdf:Description			
2-52	777	内容細目(著者)	777B_	漢字形(正規化)			○	R					dc:creator		内容細目の著者	777Bの値を取めます。姓名の間の“ ”は削除して取めます。 【例】777A_ナツメ、ソウセキ 777B_夏目漱石 777A_ヒゲチ、イチヨウ 777B_樋口一葉 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dc:creator>夏目漱石</dc:creator> </rdf:Description> </dcndl:partInformation> <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dc:creator>樋口一葉</dc:creator> </rdf:Description> </dcndl:partInformation> ※内容細目の著者は、以下のようにタイトル、よみ(項番2-47~49)とまとめて格納することもできます。 <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>内容細目1</dcterms:title> <dcndl:transcription>内容細目よみ1</dcndl:transcription> <dc:creator>内容細目の著者1-1</dc:creator> <dc:creator>内容細目の著者1-2</dc:creator> </rdf:Description> </dcndl:partInformation> <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>内容細目2</dcterms:title> <dcndl:transcription>内容細目よみ2</dcndl:transcription> <dc:creator>内容細目2</dc:creator> </rdf:Description> </dcndl:partInformation>

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)												
	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。		
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			属性	
2-53							R			dcndl:part							
2-54							NR			Information							
2-55	29n (n=1~9)	多巻ものの各巻のタイトルと責任表示に関する事項	29nA_29nB_29nD_	タイトル タイトル関連情報 巻次、回数、年次等									dcterms:title		多巻ものの各巻のタイトル	29nA、29nBを“△”で、29nDを“△”で連結して収めます。 【例】291A.D. H. ロレンス 291B. 素人の研究 291D. 下巻 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>D. H. ロレンス : 素人の研究. 下巻</dcterms:title> </dcndl:partInformation>	
2-56	59n (n=1~9)	多巻ものの各巻のタイトル標目(タイトル関連情報の読み等を含む)	59nA_59nD_	カタカナ形(正規化) 巻次等のよみ(正規化)									dcndl:transcription		多巻ものの各巻のタイトルよみ	59nA、59nDを“△”で連結して収めます。 【例】591A.D. H. ロレンス 591D. ゲカン →【DC-NDL入力例】 <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>D. H. ロレンス : 素人の研究. 下巻</dcterms:title> <dcndl:transcription>D. H. ロレンス. ゲカン</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:partInformation> ※タイトルとよみは、nの値でセットにして収めます(291と591、292、592以降も同様)。 ※よみが複数ある場合は、1つ目の読みのみを291Aに対応させて収めます。2つ目以降の読みは収めません。	
2-57	29n (n=1~9)	多巻ものの各巻のタイトルと責任表示に関する事項	29nF_	責任表示									dc:creator		多巻ものの各巻の責任表示	役割表示が“ ”でつながれている場合、“責任表示△役割表示”と“ ”を△「半角スペース」へ変換して収めます。 【例】29nF. アナイス・ニン // 著 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:partInformation> <rdf:Description> <dcterms:title>D. H. ロレンス : 素人の研究. 下巻</dcterms:title> <dcndl:transcription>D. H. ロレンス. ゲカン</dcndl:transcription> <dc:creator>アナイス・ニン 著</dc:creator> </rdf:Description> </dcndl:partInformation>	
2-58	265	版に関する事項	265A_	版表示等									dcndl:edition		版表示	値をそのまま収めます。 【例】265A 改訂版 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:edition>改訂版</dcndl:edition> ※265Aが複数ある場合は、入っている順番通りに連結して収めます。区切り記号やスペースは挿入しません。	
2-59							R			dcterms:creator						75nB、75nAの値を収めます。75nBの姓名の間の“ ”は削除して収めます。 【例】751A ナツメソウセキ 751B 夏目 漱石 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:creator> <foaf:Agent> <foaf:name>夏目漱石</foaf:name> <dcndl:transcription>ナツメソウセキ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator>	
2-60							NR			foaf:Agent							
2-61	75n (n=1~9)	著者標目	75nB_	漢字形(正規化)									foaf:name		著者標目	※※「dcterms:creator」と「dc:creator」の記録について※※ 著者に関する情報は「dcterms:creator」と「dc:creator」の2箇所に記述しています。 これは、主に著者標目と責任表示をそれぞれ書き分けて記述するためです。 ・dcterms:creatorと「dc:creator」は以下のように使い分けています。 →主に「著者標目」に使用 →主に「責任表示」に使用(役割表示を含んで責任表示の情報そのまま転記する)	
2-62	75n (n=1~9)	著者標目	75nA_	カタカナ形(正規化)									dcndl:transcription		著者標目よみ		
2-63							R			dcterms:creator						78nB、78nAの値を収めます。78nBの姓名の間の“ ”は削除して収めます。 【例】78nA ナツメソウセキ 78nB 夏目 漱石 78nA ヒグチ、イチヨウ 78nB 樋口 一葉 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:creator> <foaf:Agent> <foaf:name>夏目漱石</foaf:name> <dcndl:transcription>ナツメソウセキ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator>	
2-64							NR			foaf:Agent							
2-65	78n (n=1~3)	シリーズの著者標目	78nB_	漢字形(正規化)									foaf:name		シリーズ著者標目	<foaf:Agent> <foaf:name>夏目漱石</foaf:name> <dcndl:transcription>ナツメソウセキ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator> <dcterms:creator>	
2-66	78n (n=1~3)	シリーズの著者標目	78nA_	カタカナ形(正規化)									dcndl:transcription		シリーズの著者標目よみ	<foaf:Agent> <foaf:name>樋口一葉</foaf:name> <dcndl:transcription>ヒグチ、イチヨウ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator>	
2-67							R			dcterms:creator						79nB、79nAの値を収めます。79nBの姓名の間の“ ”は削除して収めます。 【例】79nA ナツメソウセキ 79nB 夏目 漱石 79nA ヒグチ、イチヨウ 79nB 樋口 一葉 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:creator> <foaf:Agent> <foaf:name>夏目漱石</foaf:name> <dcndl:transcription>ナツメソウセキ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator>	
2-68							NR			foaf:Agent							
2-69	79n (n=1~9)	多巻ものの各巻著者標目	79nB_	漢字形(正規化)									foaf:name		多巻ものの各巻著者標目	<foaf:Agent> <foaf:name>夏目漱石</foaf:name> <dcndl:transcription>ナツメソウセキ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator>	
2-70	79n (n=1~9)	多巻ものの各巻著者標目	79nA_	カタカナ形(正規化)									dcndl:transcription		多巻ものの各巻著者標目よみ	<dcterms:creator> <foaf:Agent> <foaf:name>樋口一葉</foaf:name> <dcndl:transcription>ヒグチ、イチヨウ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator>	
2-71							R			dcterms:creator						777B、777Aの値を収めます。777Bの姓名の間の“ ”は削除して収めます。 【例】777A ナツメソウセキ 777B 夏目 漱石 777A ヒグチ、イチヨウ 777B 樋口 一葉 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:creator> <foaf:Agent> <foaf:name>夏目漱石</foaf:name> <dcndl:transcription>ナツメソウセキ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator>	
2-72							NR			foaf:Agent							
2-73	777	内容細目(著者)	777B_	漢字形(正規化)									foaf:name		内容細目の著者	<foaf:Agent> <foaf:name>夏目漱石</foaf:name> <dcndl:transcription>ナツメソウセキ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator>	
2-74	777	内容細目(著者よみ)	777A_	カタカナ形(正規化)									dcndl:transcription		内容細目の著者よみ	<dcterms:creator> <foaf:Agent> <foaf:name>樋口一葉</foaf:name> <dcndl:transcription>ヒグチ、イチヨウ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator>	
2-75	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nF_	責任表示									dc:creator		責任表示	値をそのまま収めます。 役割表示が“ ”でつながれている場合、“責任表示△役割表示”と“ ”を△「半角スペース」へ変換して収めます。 【例】251A 渋谷正 // 編訳 →【DC-NDL入力例】 <dc:creator>渋谷正 編訳</dc:creator>	
2-76	28n (n=1~3)	シリーズに関する事項	28nF_	シリーズに関する責任表示									dcndl:seriesCreator		シリーズ責任表示	値をそのまま収めます。 役割表示が“ ”でつながれている場合、“責任表示△役割表示”と“ ”を△「半角スペース」へ変換して収めます。 【例】281A カール・マルクス、フリードリヒ・エンゲルス // [著] →【DC-NDL入力例】 <dc:creator>カール・マルクス、フリードリヒ・エンゲルス [著]</dc:creator>	

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)											
	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。	
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			属性
2-77					●		R			dcterms:publisher						【例】270A 長野 270B ほおずき書籍 270A 東京 270B 星雲社(発売) →【DC-NDL入力例】 <dcterms:publisher> <foaf:Agent> <foaf:name>ほおずき書籍</foaf:name> <dcnd:transcription>ホオズキシヨセキ</dcnd:transcription> <dcnd:location>長野</dcnd:location> </foaf:Agent> </dcterms:publisher>
2-78					●		NR			foaf:Agent						
2-79	270	出版・頒布等に関する事項	270B_	出版者、頒布者等	●	○	NR				foaf:name			出版者、頒布者等		
2-79-2	-	-	-	-	●	○	NR				dcterms:description			付記事項		【例】270A 星雲社</foaf:name> ※3 <dcterms:description>発売</dcterms:description> ※1 <dcnd:transcription>セイウンシヤ</dcnd:transcription> ※2 <dcnd:location>東京</dcnd:location>
2-80	770	出版者のよみ	770A_	カタカナ形(正規化)		○	NR				dcnd:transcription			出版者、頒布者等よみ		※1) 270B の値の末尾に“(発売)”or“(製作)”or“(制作)”or“(印刷)”or“(手製)”がある場合は、“発売”or“(製作)”or“(制作)”or“(印刷)”or“(手製)”の文字列をdcterms:descriptionに収めます。270B_の値末尾からは削除します。 ※2) 770A の値の末尾に“(ハツバイ)”or“(セイサク)”or“(インサツ)”or“(テセイ)”がある場合は、770A_の値から削除して収めます。 ※3) 270B_と270A_のセットが複数ある場合は、dcterms:publisherの単位で繰り返して収めます。 (1) 270A_値① 270B_値② 「①と②」をセットにする (2) 270A_値① 270B_値② 270A_値③ 270B_値④ 「①と②」「③と④」をセットにする (3) 270A_値① 270B_値② 270B_値③ 「①と②」「①と③」をセットにする
2-81	270	出版・頒布等に関する事項	270A_	出版地、頒布地等			NR				dcnd:location			出版地		※1) 270B の値の末尾に“(発売)”or“(製作)”or“(制作)”or“(印刷)”or“(手製)”がある場合は、“発売”or“(製作)”or“(制作)”or“(印刷)”or“(手製)”の文字列をdcterms:descriptionに収めます。270B_の値末尾からは削除します。 ※2) 770A の値の末尾に“(ハツバイ)”or“(セイサク)”or“(インサツ)”or“(テセイ)”がある場合は、770A_の値から削除して収めます。 ※3) 270B_と270A_のセットが複数ある場合は、dcterms:publisherの単位で繰り返して収めます。 (1) 270A_値① 270B_値② 「①と②」をセットにする (2) 270A_値① 270B_値② 270A_値③ 270B_値④ 「①と②」「③と④」をセットにする (3) 270A_値① 270B_値② 270B_値③ 「①と②」「①と③」をセットにする
2-82	102	出版国または製作した国	102A_	出版国コード			R			dcnd:publicationPlace		rdf:datatype	出版地(国名コード)		データ型“dcnd:ISO3166”を指定して値を収めます。 【例】102A_JP →【DC-NDL入力例】 <dcnd:publicationPlace rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO3166">JP</dcnd:publicationPlace> ※“ISO3166”(2桁)を用いた値を収めます。 「総合目録共通フォーマット(第3版)」の国名コードも、同じ“ISO3166”(2桁)を用いています。 ISO 3166-1 "Codes for the representation of names of countries and their subdivisions -- Part 1: Country code"	
2-83	100	一般的処理データ	100A_	刊行年(1)	●	○	R			dcterms:issued		rdf:datatype	出版年(西暦年)		データ型“dcterms:W3CDTF”を指定して値を収めます。 <dcterms:issued rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/W3CDTF">1975</dcterms:issued> ※W3CDTF形式を用いた値を収めます。 ※スペース等、値が数値以外の部分は数字の“0”に置き換えて収めます。 ※100A_の先頭10バイト目から4桁を収めます。	
2-84	100	一般的処理データ	100A_	刊行年(2)	●	○	R			dcterms:issued		rdf:datatype	出版年(西暦年)		データ型“dcterms:W3CDTF”を指定して値を収めます。 <dcterms:issued rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/W3CDTF">2003</dcterms:issued>R84 ※W3CDTF形式を用いた値を収めます。 ※スペース等、値が数値以外の部分は数字の“0”に置き換えて収めます。 ※100A_の先頭14バイト目から4桁を収めます。	
2-85	270	出版・頒布等に関する事項	270D_	出版年、頒布年等			R			dcterms:date			出版年月日等		値をそのまま収めます。 【例】270D_2002.1 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:date>2002.1</dcterms:date>	
2-86							R			dcterms:subject					658B_、658A_の値を収めます。 【例】658A_ナベリョウリ 658B_ 鍋料理 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:subject> <rdf:Description> <rdf:value>鍋料理</foaf:name> <dcnd:transcription>ナベリョウリ</dcnd:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:subject>	
2-87							NR				rdf:Description			一般件名標目		
2-88	658	一般件名標目	658B_	漢字形(正規化)		○	NR				rdf:value			一般件名標目よみ		
2-89	658	一般件名標目	658A_	カタカナ形(正規化)		○	NR				dcnd:transcription					
2-90							R			dcterms:subject					658B_、658A_の値を収めます。650B_の姓名の間の“ ”は“ ”に置き換えて収めます。 【例】658A_オダノブナガ(1534-1582) 658B_ 織田 信長(1534-1582) →【DC-NDL入力例】 <dcterms:subject> <rdf:Description> <rdf:value>織田,信長(1534-1582)</foaf:name> <dcnd:transcription>オダノブナガ(1534-1582)</dcnd:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:subject>	
2-91							NR				rdf:Description					
2-92	650	個人名件名標目	650B_	漢字形(正規化)		○	NR				rdf:value			個人名件名標目		
2-93	650	個人名件名標目	650A_	カタカナ形(正規化)		○	NR				dcnd:transcription			個人名件名標目よみ		
2-94	685	国立国会図書館分類表(NDLC)による分類記号	685A_	分類記号またはカナ付き分類記号		○	R			dcterms:subject		rdf:resource	NDLC		685A_の値をURIに変換して収めます。 【例】685A_GK8 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:subject rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/class/ndlc/GK8"/>	
2-95-1	677	日本十進分類法(NDC)による分類記号	677A_ 677V_	分類記号 NDC版次		○	R			dcterms:subject		rdf:resource	NDC(10版)		677V_の値が“10”のとき、677A_の値をURIに変換して収めます。 【例】677A_933.7 677V_10 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:subject rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/class/ndc10/933.7"/> ※※「URI形式」と「リテラル形式」の記録について ②※※ 分類記号は「dcterms:subject」と「dc:subject」を使用して記述しています。 「dcterms:subject」と「dc:subject」は以下のように使い分けています。 ・dcterms:subject: URIが付与されている場合 →NDC10版、NDC9版、およびNDLCに使用 ※URIは「国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス(Web NDLC Authorities)上で定義しています。 ・dc:subject: URIが付与されておらず文字列で記述する場合 →NDC8版等に使用	
2-95-2	677	日本十進分類法(NDC)による分類記号	677A_ 677V_	分類記号 NDC版次		○	R			dcterms:subject		rdf:resource	NDC(9版)		677V_の値が“9”のとき、677A_の値をURIに変換して収めます。 【例】677A_933.7 677V_9 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:subject rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/class/ndc9/933.7"/>	
2-96	677	日本十進分類法(NDC)による分類記号	677A_ 677V_	分類記号 NDC版次		○	R			dc:subject		rdf:datatype	NDC(8版)		677V_の値が“8”のとき、データ型“dcnd:NDC8”を指定して677A_の値を収めます。 【例】677A_210.268 677V_8 →【DC-NDL入力例】 <dc:subject rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcnd/terms/NDC8"/> 210.268</dc:subject>	
2-97	677	日本十進分類法(NDC)による分類記号	677A_ 677V_	分類記号 NDC版次		○	R			dc:subject		rdf:datatype	NDC		データ型“dcnd:NDC”を指定して値を収めます。 <dc:subject rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcnd/terms/NDC"/> 値</dc:subject> ※日本十進分類表(NDC)の8版の各バリエーションおよび版が不明なものは、版を区別せず収めます。	
2-98	101	著作の言語	101A_	テキストの言語コード		○	R			dcterms:language		rdf:datatype	テキストの言語		データ型“dcnd:ISO639-2”を指定して値を収めます。大文字は小文字に変換してください。 【例】101A_JPN 101A_ENG →【DC-NDL入力例】 <dcterms:language rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO639-2">jpn</dcterms:language> <dcterms:language rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO639-2">eng</dcterms:language> ※“ISO639-2”を用いた値を収めます。 「総合目録共通フォーマット(第3版)」の言語コードも、同じ“ISO639-2”を用いています。 ISO 639-2 "Codes for the representation of names of languages -Part 2: Alpha-3 code"	

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)											
	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					属性	内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			
2-99	101	著作の言語	101C_	原文の言語コード									dcndl:originalLanguage	rdf:datatype	原文の言語	データ型"dcndl:ISO639-2"を指定して値を収めます。大文字は小文字に変換してください。 【例】101A_JPN 101C_ENG →【DC-NDL入力例】 <dcterms:language rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO639-2"jpn/> <dcndl:originalLanguage rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO639-2">eng</dcndl:originalLanguage> ※"ISO639-2"を用いた値を収めます。 「総合目録共通フォーマット(第3版)」の言語コードも、同じ"ISO639-2"を用いています。 ISO 639-2 "Codes for the representation of names of languages -Part 2: Alpha-3 code"
2-100	350	一般注記	350A_	一般注記									dcterms:description		注記	値をそのまま収めます。特定の導入句は付加しません。 ※350Aの値が「刊行頻度:」で始まる場合は、「:」以降の値のみを<dcndl:publicationPeriodicity>に収めます。 →項番2-114参照
2-101	387	システム要件に関する注記(電子資料)	387A_	システム要件注記									dcterms:description		システム要件注記	導入句「システム要件:」を付加して収めます。
2-102	269	電子資料の特性に関する事項	269A_	電子的内容									dcterms:description		電子的内容	値をそのまま収めます(データ、画像データ、テキスト・データ、プログラム等)。
2-103	386	電子的内容に関する注記	386A_	電子的内容注記									dcterms:description		電子的内容に関する注記	値をそのまま収めます(電子ブック、HTML形式、Lha圧縮等)。
2-104	275	形態に関する事項	275A_275B_275E_	特定資料種別と資料の数量 大きさ 付属資料									dcterms:extent		特定資料種別と資料の数量 大きさ 付属資料	区切り記号で連結して収めます。 275Aの値△:△275Bの値△+△275Eの値 【例】275A_182p 275B_26cm 275E_DVD-ROM2枚(12cm) →【DC-NDL入力例】 <dcterms:extent>182p△:△26cm△+△ DVD-ROM2枚(12cm)</dcterms:extent>
2-105	360	装丁と定価に関する注記	360A_	装丁									dcterms:description		装丁	導入句「装丁:」を付加して収めます。
2-106	360	装丁と定価に関する注記	360B_	税込価格									dcndl:price		税込価格	「税込価格」の場合、値の末尾に(税込)と付加して収めます。
2-107	360	装丁と定価に関する注記	360C_	本体価格									dcndl:price		本体価格	「本体価格」の場合、値をそのまま収めます。
2-108	100	一般的処理データ	100A_	対象利用者コード									dcterms:audience		対象利用者	「一般」または「児童」を収めます。 ※100Aの先頭18バイト目から3バイトの値が「C_(児童書)」の場合を「児童」、それ以外の値の場合は「一般」としています。
2-109	25n (n=1~9)	タイトルと責任表示に関する事項	25nW_	資料種別									dcndl:materialType	rdf:resource rdfs:label	資料種別	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndctype/○○" rdfs:label="○○"/> ※以下を参照し、適切なType語彙を収めてください。 参照) 別紙 NDLタイプ語彙一覧 ver.1.1 (2012.9.3) http://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2012/09/ndctype_ver.1.1_20120903.pdf ・「総合目録共通フォーマット(第3版)」の資料種別等との変換表はこちらをご参照ください。 本表>シート「参考」Type変換表
2-110	000	レコード管理データ	000_(7バイト目)	レコードの種別												
2-110	266	地図資料の数値データに関する事項	266A_	数値データ									dcterms:description		地図資料の数値データに関する事項	値をそのまま収めます。 【例】266A_1:25000△:△ユニバーサル横メルカトル図法 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:description>1:25000△:△ユニバーサル横メルカトル図法</dcterms:description>
2-111	123	地図資料の数値データ	123A_	縮尺タイプ									dcterms:description		地図資料の数値データ	123Aの値が「B」の場合のみ、「角度による縮尺」と収めます。 【例】123A_B(=角度による縮尺) →【DC-NDL入力例】 <dcterms:description>角度による縮尺</dcterms:description>
2-112	123	地図資料の数値データ	123B_	水平率									dcterms:description		地図資料の数値データ	導入句「水平縮尺:」を付加して収めます。
2-113	123	地図資料の数値データ	123C_	垂直率									dcterms:description		地図資料の数値データ	導入句「垂直縮尺:」を付加して収めます。
2-114	350	一般注記	350A_	一般注記									dcndl:publicationPeriodicity		刊行頻度	350Aの値が「刊行頻度:」で始まる場合は、「:」以降の値のみを<dcndl:publicationPeriodicity>に収めます。 【例】350_刊行頻度:月刊 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:publicationPeriodicity>月刊</dcndl:publicationPeriodicity> ※350Aの値が「刊行頻度:」以外の場合は<dcterms:description>に収めます。この場合、導入句は付加しません。
2-115	918	地図資料の対象地域コード	918A_	UTM区画番号									dcterms:spatial	rdf:datatype	UTM区画番号	データ型"dcndl:UTMNO"を指定して値を収めます。 <dcterms:spatial rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/UTMNO">UTM区画番号の値</dcterms:spatial>
2-116	918	地図資料の対象地域コード	918B_	全国地方公共団体コード									dcterms:spatial	rdf:datatype	全国地方公共団体コード	データ型"dcndl:JISX0402"を指定して値を収めます。 <dcterms:spatial rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/JISX0402">全国地方公共団体コードの値</dcterms:spatial>
2-117	918	地図資料の対象地域コード	918E_	国際海図番号									dcterms:spatial	rdf:datatype	国際海図番号	データ型"dcndl:ICNO"を指定して値を収めます。 <dcterms:spatial rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/ICNO">国際海図番号の値</dcterms:spatial>
2-118	918	地図資料の対象地域コード	918D_	各国国内海図番号									dcterms:spatial	rdf:datatype	各国国内海図番号	データ型"dcndl:NCNO"を指定して値を収めます。 <dcterms:spatial rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NCNO">各国国内海図番号の値</dcterms:spatial>
2-119	856	電子資料アクセス情報	856U_	URL									dcterms:relation	rdf:resource	関連資料	URLをそのまま収めます。 <dcterms:relation rdf:resource="値(URL)"/>
2-120					○								dcndl:BibResource	rdf:about	書誌データの主語	<dcndl:BibResource rdf:about="●●●#material"> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#materialを付して収めます。
2-121					○								dcndl:record	rdf:resource	書誌データから個体データへのリンク	<dcndl:record rdf:resource="●●●#item"/> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#itemを付して収めます。

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				DC-NDL(RDF)											
	フィールド群	フィールド群名	フィールド名	フィールド項目名	必須	準必須	アクセスポイント	繰り返し	タグ名					属性	内容	入力例、入力の際ご留意いただきたい点 ※△は、半角スペースを表す。
									第1階層	第2階層	第3階層	第4階層	第5階層			
3-1					○					dcndl:item					rdf:about	個体データの主題 <dcndl:item rdf:about="●●●#item"> ※●●●の部分は項番1-3で入力した値と同一とします。最後に#itemを付して収めます。 ※NDLサーチにDC-NDL形式のデータを送付いただく場合は、システム上紐づく個体データ(item)は1つのみでしか受け付けられません。個体データが複数の場合(複本分の個体データが紐づいているなど)は、管理データ-書誌データ-個体データが1対となるようにしてください。 ※管理データ-書誌データ-個体データが1対の場合は、すべて同じURIを用います。 NDLサーチでの書誌同定処理後、同定されたデータは、個体データのみが基本書誌に紐づきます。
3-2					○					dcndl:holdingAgent						
3-3					○									foaf:Agent		
3-4	960	ローカルデータ	960B_	所蔵館名	○									foaf:name	所蔵館名	
3-5	960	ローカルデータ	960A_	所蔵館コード	○		○							dcterms:identifier	所蔵館コード	データ型"dcndl:NDLLibCode"を指定して値を収めます。 【例】 960A_2911 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDLLibCode">2911</dcterms:identifier> ※「所蔵館コード」には、960A「所蔵館コード」を収めます。801B「作成図書館コード」は使用していません。
3-6					○					rdfs:seeAlso				rdf:resource	提供元書誌詳細画面のURL <rdfs:seeAlso rdf:resource="○○○"/> ○○○の部分は、以下のいずれかを収めます(順番は優先度です)。 ① OpenURLでのリクエストURL ・キーにはISBN、ISSNを用いてください。 ・ISBN、ISSNがない場合、タイトルをそのほかのID(MARCO番号等)より優先してキーとして用いてください。 ② 当該資料の書誌詳細画面URL	
3-7	950	各館のユニークなコントロール番号	950A_	コントロール番号	○					dcterms:identifier				rdf:datatype	各館のユニークなコントロール番号 データ型"dcndl:somokuBibID"を指定して値を収めます。 【例】950A_91021340 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/somokuBibID">91021340</dcterms:identifier> ※ユニークIDがある場合は必ず入力して下さい。	
3-8	960	ローカルデータ	960E_	所蔵館の図書登録番号	○					dcterms:identifier				rdf:datatype	所蔵館の図書登録番号 データ型"dcndl:somokuSubID"を指定して値を収めます。 【例】950E_91021340 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/somokuSubID">91021340</dcterms:identifier> ※項番3-7のユニークなID以外に番号が存在する場合に用います。	
3-9	960	ローカルデータ	960D_	所蔵館の請求記号						dcndl:callNumber					所蔵館の請求記号 【例】 960D_216.5-240-7 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:callNumber>216.5-240-7</dcndl:callNumber> ※NDLサーチにDC-NDL形式のデータを送付いただく場合は、システム上紐づく個体データ(item)は1つのみでしか受け付けられません。請求記号も個体データ(item)と1対になるようにしてください。 個体データ(item)の記載方法については、項番3-1もご参照ください。	
3-10	960	ローカルデータ	960F_	禁帯出等を示す注記						dcndl:availability					入手可能性 【例】 960F_帯出不可 →【DC-NDL入力例】 <dcndl:availability>帯出不可</dcndl:availability> ※禁帯出等、ILL申し込みの際に必要な情報を収めます。	
3-11	960	ローカルデータ	960G_	配置場所						dcterms:description					所蔵注記 導入句「配置場所:」を付加して収めます。 【例】 960G_埼玉資料書庫 →【DC-NDL入力例】 <dcterms:description>配置場所: 埼玉資料書庫</dcterms:description>	
3-12	960	ローカルデータ	960H_	資料区分(郷土資料)						dcterms:description					資料区分(郷土資料) 960Hにデータが収録されている場合、文言を「郷土資料」に統一して収めます。 【例】 960H_(データが収録されている場合) →【DC-NDL入力例】 <dcterms:description>郷土資料</dcterms:description>	

項番	総合目録共通フォーマット(第3版)				NDLタイプ語彙			備考
	現行のフィールド	現行のフィールド名	現行のコード値	現行の値・デコード値	変換の値	日本語名(GUIに表示)	メタデータの表現	
1	25nW_	資料種別	/	写本	Book Manuscript	図書 書写資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Book" rdfs:label="図書"/> <dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Manuscript" rdfs:label="書写資料"/>	
	25nW_	資料種別	/	稿本				
	000_	レコードの種別	B	言語資料で非刊行物				
2	25nW_	資料種別	/	地図資料	Map	地図	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Map" / rdfs:label="地図"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別	E	地図資料				
3	25nW_	資料種別	/	楽譜	MusicScore	楽譜	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/MusicScore" rdfs:label="楽譜"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別	C	楽譜				
4	25nW_	資料種別	/	録音資料	Sound	録音資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://purl.org/dc/dcmitype/Sound" rdfs:label="録音資料"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別	I	録音資料				
5	000_	レコードの種別	J	音楽録音資料	Sound Music	録音資料 音楽	<dcndl:materialType rdf:resource="http://purl.org/dc/dcmitype/Sound" rdfs:label="録音資料"/> <dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Music" rdfs:label="音楽"/>	
6	25nW_	資料種別	/	映像資料	MovingImage	映像資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://purl.org/dc/dcmitype/MovingImage" rdfs:label="映像資料"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別	G	映像資料				

7	25nW_	資料種別	/	静止画資料	StillImage	静止画資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://purl.org/dc/dcmitype/ StillImage" rdfs:label="静止画資料"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別	K	静止画資料				
8	25nW_	資料種別	/	点字資料	MaterialsForVisuallyHandicappedPeople Braille	視覚障害者向け資料 点字	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Mat erialsForVisuallyHandicappedPeople" rdfs:label="視覚障害者向け資料"/> <dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Brail le" rdfs:label="点字"/>	000_がAであっても変換は左記のみ
	000_	レコードの種別	T	視覚障害者用資料				
9	000_	レコードの種別	T	視覚障害者用資料	MaterialsForVisuallyHandicappedPeople	視覚障害者向け資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Mat erialsForVisuallyHandicappedPeople" rdfs:label="視覚障害者向け資料"/>	
10	000_	レコードの種別	A	言語資料で印刷物	Book	図書	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Boo k" rdfs:label="図書"/>	25nWが地図資料、楽譜、録音資料、映像資料、静止画資料、点字資料、電子資料のものは除く
11	25nW_	資料種別	/	マイクロ資料	Book MicroForm	図書 マイクロ資料	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Boo k" rdfs:label="図書"/> <dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Micr oForm" rdfs:label="マイクロ資料"/>	
	000_	レコードの種別	H	マイクロ資料				
12	25nW_	資料種別	/	電子資料	ElectronicResource DVD・CD	電子資料 DVD・CD	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Elec tronicResource" rdfs:label="電子資料"/> <dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Com puterDisc" rdfs:label="DVD・CD"/>	000_がAであっても変換は左記のみ DVD・CDの取り扱いとは下記と同様
	000_	レコードの種別	L	電子資料				※275Aの値の冒頭が"CD"、"DVD"で始まっていた場合、左記のようにDVD・CDも変換して収める。それ以外はElectronicResourceのみ変換する。
13	100A_	官庁刊行物コード	H	官庁刊行物	GovernmentPublication	政府刊行物	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndltype/Gov ernmentPublication" rdfs:label="政府刊行 物"/>	

項番	シート	変更箇所	変更内容	変更日	
1	本表	項番3-1	個体データの主語	「入力例、入力の際ご留意いただきたい点」の記述例に誤記があったため、修正。 誤: <dcndl:record rdf:resource="●●●●#item"/> 正: <dcndl:item rdf:about="●●●●#item">	2013/2/28
2	本表	項番2-121	書誌データから個体データへのリンク	繰り返し項目が誤記であったため修正。 誤: NR 正: R	2013/2/28
3	本表	項番3-9	所蔵館の請求記号	繰り返し項目が誤記であったため修正。 誤: NR 正: R あわせて「入力例、入力の際ご留意いただきたい点」欄に追記。	2013/3/19
4	凡例	同定キー		改修に伴い、同定キーを修正。 ⑥ ISBN ⇒⑥ ISBN+出版年+タイトルの1文字目	2013/3/22
5	本表	項番2-9-2	標準番号 (URI) : ISBN (セットコー	セットISBNについてURIでの格納方法を追記	2013/3/22
6	本表	項番2-52	内容細目の著者	<dcndl:partInformation>内にタイトル、読み、著者をまとめて格納する場合の例を追記。	2013/4/17
7	本表	項番2-55 項番2-56 項番2-57	他巻ものの各巻のタイトル 他巻ものの各巻のタイトルよみ 他巻ものの各巻の責任表示	「入力例、入力の際ご留意いただきたい点」の記述例に誤記があったため、修正。 誤: <rdf:value> 正: <dcterms:title>	2013/4/17
8	本表	項番2-106 項番2-107	税込価格 本体価格	「DC-NDL (RDF) フォーマット仕様」の改訂に伴う修正。 繰り返し項目「NR」→「R」 ※ただし、「総合目録共通フォーマット (第3版)」の税込価格 (360B)、本体価格 (360C) は「繰り返し不可」のままとする。	2013/7公開
9	本表	項番2-95-1 項番2-95-2	NDC (10版) NDC (9版)	NDC10版を新規追加。 NDC9版の「※※「URI形式」と「リテラル形式」の記録について②※※」をNDC10版に転記。	2017/3/22